

大槌発

「大槌の宝」カレンダー



心安らぐ絵で被災地に癒しを届けようと、大槌の小学生が描いた『ふるさとの宝の絵』をモチーフにした来年用のカレンダーが完成し、大槌小学校に贈られました。カレンダーを制作したのは、東京や大阪の広告プロダクション150社が加盟する日本広告制作協会で、3年前からこの活動を行っています。原画は、全て大槌小学校4年生の児童64人が描いたものです。それぞれ自由な感性で描いた「ふるさと大槌の宝」が、プロの手でより鮮やかに洗練されたカレンダーとなりました。カレンダーは、町内の仮設住宅や小学校に配布されるほか、一部は東京などで販売し、売上金は大槌町に全額寄付されます。(11/14 ニュースエコー)

陸前高田発

復興現場見学会



高台移転用地や被災した高校の再建工事など、目に見える復興の姿を地域の人たちに直接見てもらおうと、陸前高田で「復興の現場見学会」

が開かれました。陸前高田と大船渡の市民41人は、高田・今泉地区の土地区画整理事業のため山を切り崩し土砂をベルトコンベアで運ぶ現場や、来年2月末の完成に向け、急ピッチで再建工事が進む県立高田高校・新校舎の建設現場を見学しました。この現場見学会は今後も継続して行われる予定です。(11/14 ニュースエコー)



岩泉発

「子ども屋台」訪問



岩泉町の山間部にある中沢小学校と国見小学校の全校児童17人が、町内の小本仮設団地を訪問し、手作りの料理をふるまって交流しました。2つの小学校は震災後、毎年小本仮設団地を訪れていますが、今年は料理をふるまう「子ども屋台」を企画しました。児童は焼きそばやホットケーキ、わたあめを作り、手作りの食券を各世帯に声をかけながら配りました。

元気な声が仮設団地に響くと住民が誘い合わせて集まり、子どもの心のこもった料理を受け取っていました。(11/18 ニュースエコー)



大槌発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週はおおつちさいがいFMの山口藍さんが町の近況について伝えてくれました。大槌町安渡地区と赤浜地区の宅地住宅の引き渡し遅れについてです。2つの地区は町内の他地区と比べ、移転先の宅地住宅整備が遅れていますが、それでもようやくここのまで来たという気持ちもあり、住民の思いは複雑なようです。また、仮設住宅で行われた花巻農業高校の出張ミニ文化祭についても伝えてくれました。サンマ入りハンバーグの試食や鹿踊りの披露などがあり、仮設に住む方たちは、高校生たちに元気をもらったと話していたそうです。(11/19)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122